

11	(地独)東京都健康長寿医療センター	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター年度計画の実施(平成21年度)
事業概要	平成21年度から平成24年度までの4年間を計画期間とする中期計画を達成するため、平成21年度において取り組むべき事項を年度計画として定め、高齢者のための高度専門医療及び研究の充実・発展と経営基盤の改善と確立について着実に実施する。	
これまでの経過	平成21年4月1日、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター中期計画が東京都の認可を受けた。  (定款、業務方法書、中期目標、中期計画及び年度計画はホームページで公表 URL : <a href="http://www.tmg Hig.jp/outline01.html">http://www.tmg Hig.jp/outline01.html</a> )	
現在の進行状況	<p>平成21年4月 高齢者専門の急性期病院である東京都老人医療センターと老化及び老年病に関する研究所である東京都老人総合研究所とを一体化し、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターを開設した。</p> <p>平成21年5月 「新病院開設・心臓外科新設(平成21年3月開設)記念医療連携講演会」を開催した。 早期からの退院支援、円滑な退院後の療養生活に向けた支援をセンター内で連携して行うため、「退院支援チーム」を設置した。</p> <p>平成21年6月 セカンドオピニオンのニーズの高まりに応えるため、実施する診療科及び対象疾病を掲げるなど必要な実施体制を整備し、セカンドオピニオン外来を開設した。 医療と研究の一体化のメリットを生かして臨床部門と研究部門との間で成果と課題の共有、問題意識の提起を行い、新たな取り組みに繋げていくため、「トランスレーショナルリサーチ推進会議」を設置した。</p> <p>平成21年7月 悪性腫瘍への点滴注射による外来での治療を行うため、外来化学療法を開始した。 急性期の医療機関として具備すべき条件である診断群分類別包括評価制度(DPC)の運用を開始した。 韓国漢陽大学高齢社会研究所と共同でワークショップを開催し、共同研究推進のための協力に関し協定を結んだ。</p> <p>平成21年8月 地域救急搬送体制の取組である「救急医療の東京ルール」に参画した。</p> <p>平成21年9月 中期事業計画で新病院建設は大きな事業であり、その第一ステップとして、基本設計策定のため、プロポーザル方式により、新築工事基本設計の設計者を選定した。</p>	

<p>今後の見通し</p>	<p>高齢者のための高度専門医療及び研究を行い、東京都における高齢者医療及び研究の拠点としての役割を果たす。</p> <p>病院部門ではこれまで培ってきた豊富な EBM をもとに高齢者の特性に配慮した医療の確立を目指していく。また、その成果を高齢者医療のモデルとして広く社会に発信するため、特に重点的に取り組む医療分野を定め、あわせて高齢者急性期医療の提供、地域連携の推進及び救急医療の充実に努めていく。</p> <p>研究部門では高齢者の健康維持や老化・老年病の予防法・診断法の開発等の研究を支える観点から老化のメカニズムや老化制御などの基盤的研究を実施するとともに、高齢者の健康長寿と福祉に関して、疾病予防や介護予防の視点から、疫学調査や社会調査などによる社会科学的な研究を実施する。また、海外研究機関との連携を深め、臨床応用可能な研究成果を臨床に導入するためのトランスレーショナルリサーチを推進する。</p> <p>中期計画に基づき、各事業を実施するとともに、公式ホームページ等において、実施状況を公表する。</p>		
<p>問い合わせ先</p>	<p>地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター        ー 経営企画局 経営企画課</p>	<p>電話</p>	<p>03 ( 3964 ) 1141</p>